

豊かな文化に支えられた

「文化力あふれるまち 長野市」



令和7年11月19日

観光文化部文化芸術課

第二次長野市文化芸術振興計画(平成29年～令和8年)

1

基本方針：文化芸術に親しみ、創造し継承され、優しさと温もりがあふれるまち

方策と主な事業

1 長野市芸術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供

- ・長野市芸術館運営（指定管理:一般財団法人 長野市文化芸術振興財団）・長野市役所階遊美術館
- ・松代・東部文化ホール管理運営（指定管理:株式会社 サンワックス）

2 市民の自主的・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちのにぎわいにつながる発表機会の充実

- ・長野市風景画展 ・長野市文化芸術祭 ・長野市民演劇祭
- ・表参道芸術音楽祭 ・街角アート&ミュージック ・街角アート展 ・ながの高校生バンドコンテスト
- ・芸術文化振興基金助成金 ・芸術館指定事業(シニア演劇アカデミー、ジュニア合唱団、市民企画など)
- ・ながの獅子舞フェスティバル ・伝統芸能こどもフェスティバル ・伝統芸能訪問公演 ・伝統芸能継承事業補助金

3 子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動の支援

- ・小学6年生ミュージカル鑑賞会(劇団四季) ・長野市子ども文化芸術賞
- ・芸術館指定事業(文化芸術によるコミュニケーション能力向上事業、創作ワークショップなど)

4 交流が広がる魅力ある文化芸術公演やイベントの企画・創造

- ・野外彫刻ながのミュージアム事業 ・わが街ながのゆかりの作家展
- ・長野市芸術館(市役所ロビーコンサートなど)
- 【再掲】長野市文化芸術祭、表参道芸術音楽祭、街角アート&ミュージック、街角アート展など

5 伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体の活動支援

- 【再掲】ながの獅子舞フェスティバル、伝統芸能こどもフェスティバル、伝統芸能訪問公演、
伝統芸能継承事業補助金

長野市風景画展

- 趣 旨 郷土を愛し、絵画創作活動と芸術文化への関心を高め、情操豊かなまちづくりを目指して開催
- 会 場 長野市芸術館展示サロン、長野市役所第一庁舎1階市民交流スペース
- 作品募集 作品のテーマ「長野市内の風景」
- 実 績 平成3年度から毎年度開催
歴代受賞作品展 出展数94作品、来場者数1,586人(日本一の門前町大縁日実行委員会)
R5年度 第33回 出展数218作品、来場者数1,398人
R6年度 第34回(本展)出展数200作品、来場者数1,848人
R7年度 第34回(巡回展)出展数49作品、来場者数569人
第35回(本展)令和8年1月18日(日)～27日(火)開催予定
(選抜展)令和8年1月29日(木)～2月15日(日)開催予定



長野市芸術館展示サロン



第一部(日本画)
山下 輝二「ブランド薬師」
取材地 浅川 ブランド薬師



第二部(洋画)
徳竹 弘美「宵寒の駅前」
取材地 長野市

長野市文化芸術祭

- 趣 旨 長野市文化芸術協議会加盟22団体が一堂に会して、日頃の研鑽や精進の成果を発表しあうことにより、市民との交流を通じて文化芸術の質の向上を図る。
- 開催期間 例年、5月中旬～下旬
- 会 場 長野市芸術館
- 参加団体 長野市文化芸術協議会加盟団体、特別出演(学校等)
- 実 績 昭和40年に第1回を開催
R5年度 第59回 参加者 24団体 894人
R6年度 第60回 参加者 29団体 1,164人 [周年記念開催]
R7年度 第61回 参加者 26団体 854人



舞台部門



展示部門



特別出演
(長野市芸術館ジュニア合唱団)

長野市民演劇祭

- 目的 市内の演劇団体による演劇の上演及び鑑賞を通じて、心豊かな郷土文化の創造と発展に寄与することを目的に平成3年度から開催
- 部門 中学校公演、高校公演、一般公演、中学生のための演劇ワークショップ
- 会場 勤労者女性会館しなのき
- 実績

区分	中学校公演	高校公演	一般公演
R4	5校	6校	応募なし
R5	6校	7校	応募なし
R6	6校	7校	応募なし
R7	6校	8校(予定)	3団体(予定)



高校公演



高校公演

わが街ながのゆかりの作家展

- 目的 地元作家の素晴らしい作品に気軽に触れる機会を提供することで、郷土にゆかりのある作家を知り、市民の芸術に対する興味や愛着を深めてもらう。
- 開催期間 年2回程度
- 会場 長野市美術館展示サロン
- 出展者 市民作家、市内高等学校 など
- 実績 平成30年度から毎年開催
R5年度 くもざる個展 21作品 / 高校美術展 16作品
R6年度 槇島藍個展 34作品 / 中村明個展 152作品
R7年度 藤井リベカ個展 153作品
藤岡牧夫個展 11月21日(金)～12月1日(月)



槇島藍個展



中村明個展

長野市芸術文化振興基金助成金

- 趣 旨 市民の文化芸術の振興を図り、多くの市民が文化芸術に触れる機会の創出を支援するため、長野市芸術文化振興基金を活用し、文化芸術事業を行う団体に助成金を交付
- 対象経費 構成員が5人以上(その過半数が市内に居住・通勤・通学)の団体が市内で行う文化芸術事業に係る経費
- 助成金額 補助率:対象経費の2分の1 上限額:10万円
- 実績 R4年度 30団体 271万2千円
R5年度 30団体 270万7千円
R6年度 32団体 293万3千円
R7年度 32団体 297万1千円(予定)



R6 写団M



R5 長野マンドリンクラブ



R4 跡部教春社中

表参道芸術音楽祭

- 目的 市民による音楽、ダンス、地域の伝統芸能等の発表機会の充実と街の賑わいづくりの創出を目的に平成28年度から実施
- 開催期間 ゴールデンウィーク中に3～5日間
- 会場 セントラルスクエア、TOiGO広場
- 出演団体 12団体/日 程度
- 実績 R4年度 4日間 48団体 639人(日本一の門前町大縁日の開催により6月に開催)
R5年度 5日間 53団体 937人
R6年度 5日間 61団体 929人
R7年度 5日間 62団体 680人
- 連携事業 シニアディスコダンス(高齢者活躍支援課)※R5年度、粉ものフェス(観光振興課)※R5年度
ナガノコレクション、善光寺よさこい表彰式



セントラルスクエア会場



TOiGO広場会場

街角アート&ミュージック

- 目的 市民による音楽、ダンス、地域の伝統芸能等の発表機会の充実と街の賑わいづくりの創出を目的に平成23年度から実施(平成28年度に事業リニューアル、現名称に変更)
- 開催期間 6～11月 8日間程度
- 会場 長野駅善光寺口駅前広場、TOiGO広場、城山公園、セントラルスクエア など
- 出演団体 平日 6～7団体/日 休日 12～13団体/日
- 実績

R4年度	9日間	91団体	942人(雨天のため1日中止)
R5年度	8日間	93団体	909人
R6年度	8日間	82団体	713人(雨天のため1日中止)
R7年度	8日間	70団体	707人(雨天のため1日と半日中止)



城山公園会場



長野駅善光寺口駅前広場会場

街角アート展

- 趣 旨 市民作家の創作活動を支援するため、令和2年度から開催
- 開催期間 年1回 9月～11月の1週間程度
- 会 場 長野駅コンコース、りんごのひろば(MIDORI長野3階)、北野カルチュラルセンター
- 出 展 者 市民、市内高校・市内デザイン・アート系専門学校・大学美術部 など
- 実 績 R4年度 市内高校 生け花 12作品 / 絵画 19作品
R5年度 信州大学教育学部図画工作・美術教育コース 彫刻・工芸/28作品
R6年度 市内デザイン・アート系専門学校 デザイン・アート/62作品
(岡学園、黒木学園、長野美術専門学校、長野平青学園)
R7年度 市内高校 絵画・デザインアート/39作品
(長野市立長野高等学校、長野清泉女学院高等学校)

生け花
(長野駅コンコース)



絵画
(りんごのひろば)



彫刻・工芸
(長野駅コンコース)



デザイン・アート
(北野カルチュラルセンター)



長野市子ども文化芸術賞

- 趣 旨 文化芸術部門で優れた活動をし、今後一層の活躍が期待される子どもたちに対し、賞を贈り、応援するため、平成28年度から開始
- 対 象 募集の前年に、文化芸術の分野で(1)全国規模の大会、コンクール等で優秀な成績を収めた又は、(2)たゆみない努力を続け、文化芸術の向上発展に貢献した個人又は団体
- 選 考 1月に募集し、2月の文化芸術振興審議会で受賞候補者を選考し、市長が決定する。
- 実 績 R4年度 個人12名、団体3組 計15組(表彰式5月21日)
R5年度 個人16名、団体3組 計19組(表彰式5月20日)
R6年度 個人16名、団体3組 計19組(表彰式5月18日)
R7年度 個人9名、団体5組 計14組(表彰式5月24日)



劇団四季こころの劇場

- 趣 旨 劇団四季が、全国各地の児童を劇場に招待し、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」などを舞台を通じて語りかけ、道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた演劇に触れ、明日への活力を生み出すことを目指して行う事業。平成24年度から共同主催で長野公演を開催
- 開催期間 例年11月上旬～中旬、2日間3公演
- 会 場 長野市芸術館メインホール
- 実 績 R4年度 新型コロナウイルス感染症の影響で動画配信 25校 1,111名
R5年度 3公演 鑑賞児童 47校 2,530名
R6年度 11月7日、8日開催 3公演 鑑賞児童 45校 2,521名
R7年度 11月12日、13日開催 3公演 鑑賞児童 45校 2,156名

ながの高校生バンドコンテスト

- 趣 旨 高校生のバンド活動を推進するため、高校生軽音楽系バンドによるコンテストを令和2年度から開催
- 開催期間 年1回、3月
- 会 場 長野市芸術館アクトスペース
- 参加団体 メンバー全員が高校生の軽音楽系バンドで、うち1名以上が長野市在住または在学
- 実 績 R5年度 14グループ 65名(関連事業:ながの高校生作品展)
R6年度 13グループ 61名(関連事業:ながの高校生バンドクリニック、ながの高校生作品展)
R7年度 10グループ 43名(8月11日開催)



グランプリ(ヘアリーヴ)



集合写真

野外彫刻めぐり

- 趣 旨
 - ・彫刻の持つ芸術性と社会機能を生かした新しい都市空間づくりを目的とした「長野市野外彫刻賞」を昭和48年に創設し、市内の公園、広場、公共施設等に受賞作品149点を設置
 - ・旧合併町村が設置した作品とあわせて、ホームページ等の活用により周知するとともに、講師の解説を聞きながら作品を鑑賞する「野外彫刻めぐり」などで活用
- 開催期間 年6回程度
- 参加者数 17名上限/回
- 実 績

R5年度	7回	95名
R6年度	6回	69名
R7年度	6回	88名



6月 長野駅から篠ノ井まで！ばらり彫刻バス旅コース



10月 特別企画！動物発見！親子で楽しむ茶臼山動物園コース

ながの獅子舞フェスティバル

- 趣 旨 次世代への伝統芸能の継承と世代や地域を超えた交流を目指して平成29年度から開催
- 開催期間 毎年5月3日
- 会 場 善光寺表参道（長野駅前広場を含む8箇所）
- 参加団体 市内及び県内の神楽・獅子舞保存団体
- 実 績
 - R5年度 参加者 58団体 1,100人
 - R6年度 参加者 66団体 1,200人
 - R7年度 参加者 73団体 1,300人



オープニング演舞



長野駅善光寺口駅前広場

伝統芸能こどもフェスティバル

- 趣 旨 次世代への伝統芸能の継承と文化芸術の振興を目的に令和元年度から開催
- 開催期間 毎年10月下旬 2日間
- 会 場 長野市芸術館
- 参加団体 市内で活動する日本舞踊、箏、三味線、大正琴などの文化芸術団体
- 実 績 R5年度 28団体 526人 合同ステージ発表 65人
R6年度 24団体 475人 合同ステージ発表 65人
R7年度 26団体 423人 合同ステージ発表 74人(10月25日、26日開催)



合同ステージ発表



体験コーナー

伝統芸能訪問公演(伝統芸能こどもフェスティバル関連事業)

- 趣 旨
 - ・次世代への伝統芸能の継承を目的に令和3年度から実施
 - ・児童・生徒が身近な場所で伝統芸能に直接触れられる貴重な体験の場として人気
- 開催期間 通年
- 会 場 各学校、こどもプラザ、児童センター
- 参加団体 伝統芸能こどもフェスティバル実行委員会加盟団体
- 実 績
 - R5年度 訪問施設 14 参加児童・生徒 785人
 - R6年度 訪問施設 19 参加児童・生徒 1,383人
 - R7年度 訪問施設 12 参加児童・生徒 867人(11月17日現在)



三味線



箏



剣詩舞

伝統芸能継承事業補助金交付

- 趣 旨
 - ・伝統芸能を継承しようとする活動に対し補助金を交付するもの
 - ・実効性を高めるため、平成28年度に補助率・補助額を上げる改正を実施
- 交付対象
 - ・市内の伝統芸能の技を後世に継承するための活動を行っている団体
- 対象経費
 - ・上記団体が行う伝統芸能継承事業(経常的な経費や飲食に係る経費等は除く)
- 補助率等
 - ・補助率3分の2 限度額10万円まで
- 実 績
 - R4年度 交付団体 31 交付額2,547千円
 - R5年度 交付団体 29 交付額2,258千円
 - R6年度 交付団体 37 交付額2,939千円
 - R7年度 予算3,000千円



R6 獅子舞幌の新調



R6 長祢纏の購入



R6 お囃子締太鼓の購入

長野市芸術館

- 概要 文化芸術活動の場を提供すること等により、創造的で多様な文化芸術活動を促進し、もって文化力あふれるまちづくりに資するため、平成28年5月に開館

- 利用人数 (人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
メインホール	90,024	82,500	89,007
リサイタルホール	22,788	25,607	25,494
アクトホール	14,806	17,712	16,188
上記以外	31,039	40,531	39,234
計	158,657	166,350	169,923

- 管理運営 開館当初から、一般財団法人長野市文化芸術振興財団が指定管理者として運営



メインホール



リサイタルホール








アクトスペース

テーマは 文化芸術でさらに心豊かで幸せなまちに～ここから つながる～

「みんなの“顔”が集う場所」として、それぞれとよりそい、つながり、皆の笑顔が輝く事業を実施します。



- ◆ 鈴木優人(指揮)×村治佳織(ギター)×読売日本交響楽団 
- ◆ ジェイコブ・コーラー ソロピアノ JAZZ コンサート 
- ◆ 昭和100 年記念 長野市芸術館 昭和歌謡祭 
- ◆ 北欧ジャズ・コンサート 
- ◆ 長野市芸術館落語祭
- ◆ Billboard classics Premium Symphonic Concert
- ◆ 長野市芸術館ジャズ・フェスティバル
- ◆ 水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ
- ◆ 金曜よるのクラシック・リサイタルシリーズ
- ◆ リヴァラン弦楽四重奏団
- ◆ 加藤昌則のぶっとび！クラシック
- ◆ 黒木岩寿の文化人類学講座
- ◆ お届け芸術館
- ◆ ランチタイム・ピアノ・コンサート
- ◆ 市役所ロビー・コンサート
- ◆ Everly 学校訪問コンサート
- ◆ NAGANO12 訪問コンサート
- ◆ 魂の歌声 60 歳からのゴスペル・コーラス 
- ◆ 長野市芸術館ジュニア合唱団第7 回定期演奏会
- ◆ 須川展也プロデュース 長野市芸術館ブラス・フェスティバル Vol.7
スーパー・ウインド・オーケストラ with NAGANO12
- ◆ オープンハウス
- ◆ 市内作家によるアートグループ展2025

芸術館の事業コンセプト

育む

- 市民の文化芸術体験の促進
- 文化芸術活動団体の日常的な活動場所の確保・提供
- 文化芸術に触れる機会の提供・支援

楽しむ

- 国内外の良質な舞台芸術の鑑賞機会の提供や支援
- 施設ににぎわいをもたらす事業の実施
- 文化芸術を楽しむライフスタイルの多様化の推進

創る

- 発表・展示する機会の提供や創作・練習活動の実施・支援
- ボランティア活動・協働
- 施設からまちに溢れるにぎわいの創出

つなぐ



- 文化施設間の連携
- 文化芸術関連情報の受発信
- 交流の場の提供
- 次世代への継承

テーマは 文化芸術でさらに心豊かで幸せなまちに～ここから つながる～

「みんなの“顔”が集う場所」として、それぞれとよりそい、つながり、皆の笑顔が輝く事業を実施します。



KIDS Meets Arts

- ◆ レ・フレール バギ・ウギ・ライブ in Nagano 
- ◆ あだちひろ 子どものためのゲーム創作ワークショップ「すごろくをつくろう」 
- ◆ 親子のためのクラシック・コンサート 音楽の絵本「カリプソ」
- ◆ OZ-尾頭-山口佳祐 子どものための美術創作ワークショップ「トータルポールをつくろう」
- ◆ 子どものための舞台技術ワークショップ

◆ ARTS ANGEL TICKET(協賛金の新たな活用として、様々な理由で公演に
来ることが難しい子どもたちやその家族に、主催公演の招待チケットを
無料で提供する。)



SERVICE
サービス+

◆ ステージ体感プラン(空き日の練習や撮影等での活用)



まち★ハブ

◆ まち★ハブ事業(地元大学生とアーティストが街や企業を訪ね、コンサートや取材を
実施し、その内容を無料冊子として配布するなど、市民、企業・まち、アーティスト
が芸術館をハブとして交わり、新たなつながりを形成する取り組み。)

東部文化ホール管理運営

- 概 要 文化芸術に関する活動及び交流の場を提供するとともに、文化芸術活動を総合的に支援し、もって文化芸術の振興に資するため平成22年4月に開館
- 利用人数 R4年度 23,419人
R5年度 31,658人
R6年度 31,128人
- 管理運営 令和6年度から松代文化ホールと合わせて指定管理者による運営



東部文化ホール外観

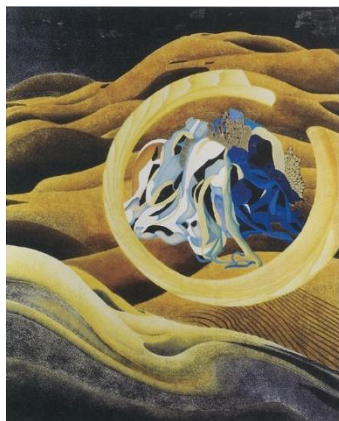
松代文化ホール管理運営

- 概 要 文化芸術に関する活動及び交流の場を提供するとともに、文化芸術活動を総合的に支援し、もって文化芸術の振興に資するため平成元年4月に開館
- 利用人数 R4年度 14,700人
R5年度 16,609人
R6年度 16,617人
- 管理運営 東部文化ホールと合わせて指定管理者による運営



松代文化ホール外観

- 趣 旨 絵画、彫刻、陶芸などの「静」の文化芸術に触れることができる場を第一庁舎に設けることで、音楽や演劇など「動」の文化芸術の拠点である長野市芸術館と、複合施設である第一庁舎を一体とした「芸術館」ととらえ、多くの市民が集い、感動と希望をもたらす施設とする。
令和6年3月に開館
- テー マ 「集い、出会い、つながる」
- 会 場 長野市役所第一庁舎 1～8階
- 展示内容 千葉紘子氏、藤井令太郎氏、ミズテツオ氏、水上民平氏の寄贈作品ほか市所有作品
市内小・中学生の児童・生徒による作品
岡学園トータルデザインアカデミー、信州大学教育学部、長野美術専門学校、長野市立長野高等学校の美術を学ぶ学生による作品
(展示作品は一定期間ごとに入れ替え予定)



千葉紘子「金環蝕」



水上民平「おはなばたけ」



市内小学生



美術を学ぶ学生
(大学・専門学校)

■国(文化庁、スポーツ庁)のガイドライン

～学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(令和4年12月)～

○ 学校部活動について

・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、**学校と地域が協働・融合した形での環境整備**を進める。

○ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備について

・**まずは休日**における地域の環境の整備を着実に推進
・**令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間**として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて**可能な限り早期の実現を目指す**。

○ ガイドラインの見直し(部活動改革実行会議 中間とりまとめ 令和6年12月)

・地域連携の取組を、「地域移行」から「**地域展開**」に名称整理
・**令和8年度からの計6年間を前期3年と後期3年に分けて設定し、「改革実行期間」とする**。
前期3年で確実な「着手」を行い、中間評価を経て、後期3年で更なる改革を推進する。

■地域展開に向けての課題

○ 受け皿となる団体(事務局の担い手)の確保、持続可能な運営体制(会費徴収、事務経費負担)の構築、顧問に代わる指導者の確保、活動日数の確保、発表の場の設定

■市の動き

○ 学校開放施設を優先して利用できる文化芸術団体の認定制度を創設

・長野市内で、15歳以下(申請年度末時点)の子どもを主な対象とした文化芸術活動を実施する団体に認定証を交付し、学校の特別教室等を使用しやすい環境を整える。

【目標】地域展開を、休日の部活動は令和7年度末、平日の部活動は令和8年度末までに進める。

《課題》

- ・文化部活動では、運動部活動の競技団体やプロスポーツチームのような、受け皿となる団体が少ない。
- ・指導者が少なく、活動場所が限定的(学校の特別教室等の使用を調整)

《方向性》

- ・比較的部員数が多く、集団での活動が必要な**吹奏楽部**、**合唱部**、**演劇部**について、受け皿となる団体を調整
⇒国の実証事業：合唱部は令和5年度、吹奏楽部は令和6年度に実施済
- ・個人活動が主となる**美術部**は学校数、部員数も多いことから、市内専門学校に受け皿を打診

活動種類	合唱	吹奏楽	演劇	美術
主たる受け皿	長野ジュニアコーラス(NJC)	長野ジュニアバンド(NJB)	(調整中)	市内専門学校
活動頻度	月2、3回 土曜	週3回(平日2 土曜1)		週1回程度(11月開始)
活動場所	信濃教育会館など	市内中学校6拠点※(音楽室など)		市内2拠点※

※活動場所が学校の特別教室等となる吹奏楽、美術は学校側と開放に向けた調整を行う。

拠点校：吹奏楽(柳町、櫻ヶ岡、東北、川中島、更北、篠ノ井東)、美術(西部、川中島)

※上記以外の活動については、引き続き、状況把握に努める。

学校部活動(文化部活動)の地域展開について(スケジュール)

25

■文化部活動の地域展開のスケジュール(案)

	令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
合唱部※	関係者協議	実証事業		受け皿となる団体の情報収集、順次準備		平日及び休日ともに 全て地域展開
吹奏楽部※	関係者協議			実証事業	受け皿となる団体の情報 収集、順次準備	
演劇部※	関係者協議					実証事業(予定)
美術※	関係者協議					受け皿となる団体の 情報収集、順次準備
技術、陶芸等	部活動顧問・関係者との協議				既存の地域団体の 活動情報収集	既存の地域団体の 活動情報提供(予定)
書写・書道						
茶道						

※令和9年度以降も引き続き、地域展開を担う受け皿団体の環境整備を行う。